

山口学生宇宙開発研究プロジェクト

—宇宙へつなぐ—

代表者 合志義亜（工学B 2年）
構成員 山本尙之（工学B 2年） 吉田泰斗（工学B 2年） 柳下里音（工学B 2年）
佐藤子瑚（工学B 2年） 河本剛志（工学B 2年）
川崎千聖（工学B 2年） 野津崇司（工学B 2年）
赤田隆浩（工学B 2年） 山本光慶（人文B 2年）
伊ヶ崎智也（工学B 2年）

1. 目的

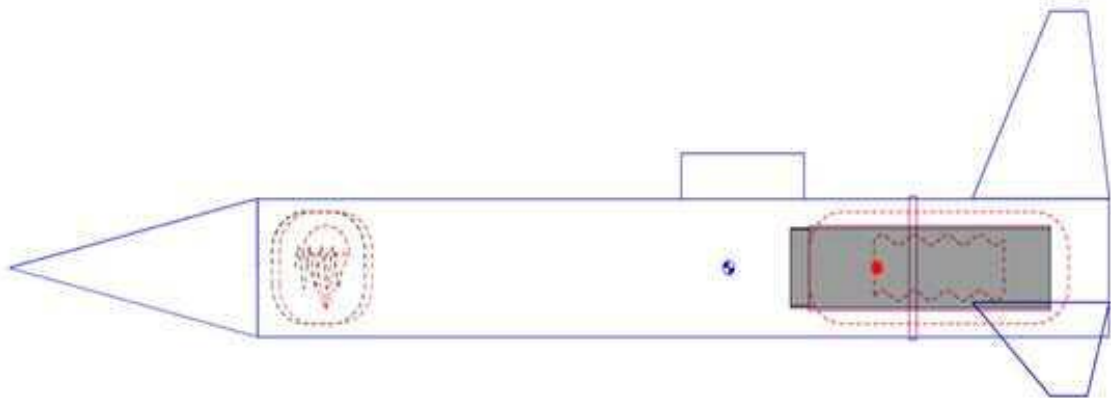
私たちのプロジェクトは、山口を宇宙につなげることを目標に活動をしています。具体的には、山口大学の学生をロケットや小型衛星の作成を行い大会に出場することで技術的に学生の宇宙への関心を実現することと、地域に向けたイベントなどに参加して、地域の人々に宇宙の興味を引き立て山口県に宇宙への関心が広がっていくことを目標に活動しています。

2. 活動状況

(1) 新加入メンバーへのロケット講習

今期から新しいメンバーが加わったので 6 月にロケットの基礎技術と設計方法の講習を行い新加入メンバーが実際に各自作ったロケットを打ち上げる競技会を行いました。そこでは高度と回収の精度を競い合いロケット打ち上げの基礎技術を学びました。

Rocket Design



Rocket

Stages: 1

Mass (with motor): 54.9 g

Stability: 1.29 cal

図1 設計図



図2 ロケット

(2) 世界スカウトジャンボリー

8月に山口市のきらら浜で行われた世界スカウトジャンボリーに参加しました。

私たちは工作教室のブースを出展し宇宙でも使われている技術を用いた飛行物体を作成し飛ばすことにより地域や世界各国から来た人たちに科学の楽しさを伝えました。

外国の人もたくさんいてうまく説明することができなかつたが熱意をもって接すれば言葉が通じなくても何とかなることが分かったがより深くコミュニケーションをとるために外国語の重要性を感じました。



図3 世界スカウトジャンボリー

(3) 能代宇宙イベントの見学

8月に来年参加を予定している秋田県能代市の能代宇宙イベントの見学に行きました。

実際に見学に行くことで打ち上げ場所の地理や風の状況を知ることができ機体を設計するうえで重要な情報を得ることができました。

また他大学の参加チームと交流することができ機体製作の技術や知識を交換することができました。他大学の進んだ技術などを知ることができ今後の活動のモチベーションになりました。



図4 能代宇宙イベント

(4) プログラミング勉強会

今年から電子制御でのロケットや衛星を作成するために、プログラミングの勉強会を行いました。皆、プログラミングは初体験だったのでお互いに教え合いながら習得を目指しました。

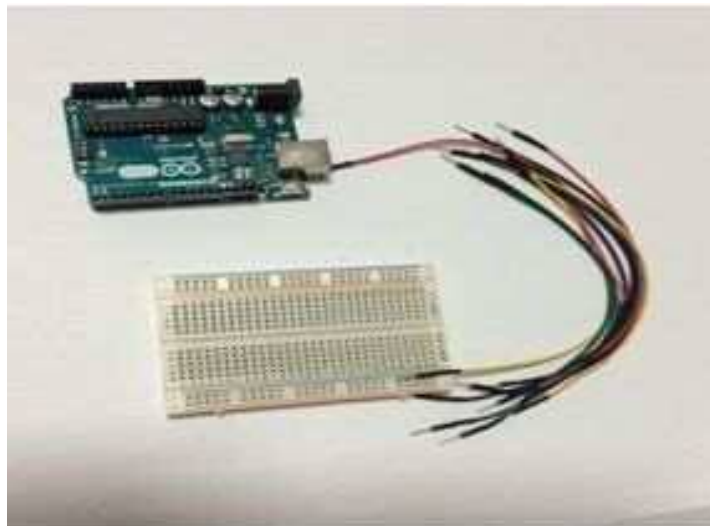


図5 プログラミング

3. 反省と今後

工学部に移り各自の予定がなかなか合わず、全員での活動があまりできませんでした。またプログラミングの勉強や素材の研究で本格的な機体の製作が追い付かなかった。後期は、機体制御や複合素材、大型エンジンを使った機体の製作と打ち上げに向けて準備をしていきたいです。